

長時間労働是正に向けた
15の勘所

仕事を見直し、生産性を上げるプロジェクトマネジメント!

働き方改革 ハンドブック

情報通信業(情報サービス業編)のご案内

あらゆる産業がソフトウェアを駆使して新たなイノベーションを起こしていくデジタルビジネス時代。情報サービス産業は、これからの若者が活躍するのにふさわしい、魅力ある産業にならなくてはなりません。

⇒ 長時間労働対策に必要不可欠なプロジェクトの現場での取組をまとめた「15の勘所」 ⇐

人事・労務面からの
アプローチ

トップマネジメントの
リーダーシップ

プロジェクトの
現場でのアプローチ

プロジェクトの現場で長時間労働の原因となる問題を15個抽出*。問題がどの「分野・フェーズ」で起きているか体系的に把握。

問題解決に役立つトラブル防止・生産性向上等の取組を「15の勘所」(裏面参照)として整理。

* プロジェクト・リーダ対象のアンケート調査と企業対象の事例調査に基づいています。

プロジェクト
特性

- ① 大規模すぎる案件
- ② 会社として実績がない、経験が不足している案件
- ③ 発注者の協力が得られない

受 注

- ④ 不明確な仕様
- ⑤ 過小な工数、短すぎるプロジェクト期間
- ⑥ メンバーの能力や経験が不足している

プロジェクトの
運営
(設計・開発
テスト)

- ⑦ 仕様変更の依頼がある
- ⑧ 品質とセキュリティ等のトラブルの発生
- ⑨ 追加工数に人員が十分に投入されないこと
- ⑩ 開発状況の把握と共有化ができていない

納入(検収)

- ⑪ 検収条件が明確にされない
- ⑫ 仕様以上の過剰品質の開発を行う

プロジェクト
推進の基盤
(全社的な
支援体制)

- ⑬ 作業の標準化ができていない
- ⑭ 生産性の基準がなく、生産性が把握できていない
- ⑮ 現場、担当者が問題を抱え込むことに対応していない



厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare

